



行方市長
坂本 俊彦

明けましておめでとございます。皆様には、清々しい希望に満ちた新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、行方は、市民協働のまちづくりと行財政の効率化を柱に、行政改革推進にむけた大綱や集中改革プランの作成と公表を行い、市のみならず改革を計画した準備期間の年でありました。

また、あわせて公募による市民会議や中学生のゆめ会議、市民アンケートなどの意見を集約し、総合計画基本構想をまとめてまいりました。10年後を目標とする本市の総合計画を本年4月から市民とともにスタートさせることで、行方市飛躍の年にしたいと考えております。自治体における情勢は、厳し

い財政運営に加えて少子高齢化や環境保全、教育問題、生活環境と、多くの問題を抱えております。行方市においても例外なく厳しい状況であり、最小の財源で最大の効果を実現できるよう、行財政改革の枠をさらに拡大し、推進を図ります。

昨年12月には市の「花木鳥」が決定いたしました。花はヤマユリ、木はイチヨウ、鳥はシラサギと、行方市の里山や水辺の美しい自然を象徴しています。

西に霞ヶ浦、東に北浦を臨み、豊かな自然とロマンあふれる文化にいぎづくまち。そして、本市は県内トップクラスを誇る農業都市でもあります。先代が築き残してくれたすばらしい地域資源を活かし、子どもや孫たちの世代へ、住みよい潤いのあるまちを伝承できるよう、市民の皆様と知恵を結集してまいりたいと考えております。

終わりに、新しい年が皆様に幸多い年になりますよう、お祈り申し上げて、新年の挨拶とさせていただきます。



行方市議会議長
高野 貫一

新年おめでとございます。市民の皆様には新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

議長就任以来、市政の進展と円滑なる議会運営に微力をささげてまいりました。その間、市民の皆様から寄せられました温かいご指導ご厚情に対し、深く感謝申し上げます。

急激な情報化の進展、少子高齢化の進行、経済構造の変化、国民の価値観や生活様式の多様化など、構造的な変化に直面している我が国は、新たな社会経済システムの構築が喫緊の課題となっております。

次代を、希望に満ちそして安らぎと心にゆとりを持った、真に豊かな時代にするには、経済的な豊かさばかりを追求するの

ではなく、一人ひとりの勇氣ある行動が必要であり、また、日本古来の文化と伝統を守り伝えていくことも大切なことだと思っております。

このような中で、行方市が合併して1年4カ月余りが経過しましたが、現在もなお幾多の重要課題が山積しています。中でも三位一体の改革による国庫負担金の廃止、縮減等による財政危機、行方市の10年後、20年後の在るべき姿がなかなか見えない点などが考えられます。このことを念頭に置き、地域の特徴を活かして自主的な発展を目指す「地域自立の時代」が到来していることを再認識し、住む人々が幸多い人生を送れるよう、市民の皆さんと執行部・議会が一丸となって一歩一歩と前進してまいりたいと思えます。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご繁栄をお祈りし、今年も議会に対しまして、一層のご支援とご鞭撻をお願いいたします。新年のあいさつとさせていただきます。

秋の叙勲を受賞



元麻生町消防団長の鈴木三男さん、五町田が瑞宝双光章を受賞されました。

鈴木さんは、昭和2年に旧行方村消防団員になり、平成4年までの4年間に及ぶ消防団活動を遂行され、地域住民の生命財産を守る消防活動にご活躍された実績が認められたものです。
1月8日、東京で行われた受勲伝達式、皇居拝謁には、ご夫婦で出席されました。



地域の「安全・安心」活動にご協力を

12月4日、行方警察署において、行方警察署と行方・潮来市消防団による「地域の安全・安心活動に関する協定」の調印式を行いました。
今回の調印式は、地元の消防団の協力を頂き、地域ぐるみで地域の安全で安心して暮らせる行方市・潮来市を実現するために行われました。



表彰関係

茨城県民生委員児童委員大会で表彰
1月2日、第25回茨城県民生委員児童委員大会が開催され、多年にわたる民生委員児童委員の活動の功績により、柳瀬徳造さんが表彰されました。

麻生商工会より 善意の寄付

麻生商工会から1月3日から5日まで開催された産業文化祭及び1月16日開催された商工会親睦ゴルフコンペの際のチャリティ募金が行方市に寄付されました。



茨城労働局からのお知らせ

茨城県最低賃金の改定

件名	時間額(円)	
茨城県最低賃金	655	
産業別最低賃金	鉄鋼業	758
	一般機械器具製造業	747
	電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス、精密機械器具製造業	742
	各種商品小売業	718

知っていますか?

警察相談 #9110

犯罪による被害の未然防止や、皆さんの安全と平穏に関する相談で、緊急ではない電話は、警察安全総合相談センターへ

☎ #9110